

# 生き生き礫川！ 伝えよう子どもたちに！

文京区青少年対策地区委員会の活動方針



# 礫川地区対が目指すもの(活動理念)

## 1 地域での各世代間のつながりを体感

「生き生き礫川！伝えよう子どもたちに！」を合言葉に、年間を通じて各行事を展開。それぞれの行事には、親の世代、祖父母の世代、さらには青年ボランティアらの参加を通じて、地域の各世代とのつながりを体験的に感じ取ってもらいます。



## 2 行事や交流の中で自立と社会性を育む



少子高齢化が進む文京区のなかで、地区対行事を通じて、子どもたちの自主的な活動を促すとともに、地域社会にふれることで自立し社会性を身につけることをサポートします。

同時に地域のスタッフの側にも、子どもたちを安心安全に見守る気風を保てるような関係性をつくりつづけていきます。

## 3 子どもたちを中心に地域各団体の連携

子どもたちを育む各行事には、町会・自治会・PTAの力が必要です。これら各団体の皆さんには、行事を通じて、近年希薄になってきている地域社会の連携などを再認識する機会としていただきます。さらには、各行事のみならず、日頃から子どもたちの安心安全を見守る態勢をつくるため連携強化を図り、地域全体で子どもたちを育む土壌をつくることにつなげていきます。



## 「あいさつ・声かけ」を広げるために

あいさつは、人と人とのコミュニケーションの基本です。

その基本を自然な形で身につけることができるよう、さまざまな行事の中で、子どもたちが気軽にあいさつができるような雰囲気づくりを目指します。

また一方で、大人にとってもあいさつは重要。子どもたちの良きお手本として、地域においても普段からのあいさつを大切にしていきます。

# 文京区青少年対策礫川地区委員会の主な事業

## サマー・ファミリー・フェスティバル (家庭の日啓発事業)

親子・ファミリーのふれあいや幼児から高齢者までの三世代交流を通し、子どもたちの健全育成をはかるとともに、伝統的な遊びの継承をめざします。



## 環境浄化推進事業 野外研修会

広く環境問題に目を向け、自然体験学習などを通じ、自然環境の大切さを学び、地域での環境浄化の活動につなげていきます。

## ホームページ運営

礫川地区対の活動目的や活動内容を広く伝え、実施する事業の予定や事業報告などの情報をわかりやすく写真やビデオなどを通じて伝えています。





# 礫川マラソン大会

青少年の健全育成事業の一環として、社会参加を促進し、世代間の交流とともに心身の健康と体力の増進を願い実施しています。



## 朝顔ほおずき市 ボランティアまつり

地域の行事・まつりなどにも積極的に参加し、幼児から高齢者まで幅広い交流の場をつくるとともに、地区対活動のPRを進めます。

### 合同行事

～地域の枠を越えて～

#### 九地区合同行事「文の京こどもまつり」

「家庭の日」啓発事業として、毎年1回（11月第2日曜日）9つの地区が合同で「文の京こどもまつり」を実施しています。青少年対策地区委員会の一大会として、また親子のふれあいの場として定着しています。



#### 機関誌「やんぐ」

青少年対策地区委員会の取り組みをより多くの方に知ってもらうための機関誌「やんぐ」を年2回発行しています。行事に参加した子どもたちや保護者の感想など、多くの人の声を取り入れています。

#### ★「はじめの一步！（文京区青少年育成プラン）」とは★

文京区青少年問題協議会では、青少年健全育成施策に関する行政や地域関係団体の行動指針となる「はじめの一步！（文京区青少年育成プラン）」を策定しました。青少年対策地区委員会では、本プランの趣旨に基づいた青少年健全育成施策の推進を図っています。

#### ★地区対(ちくたい)って何？★

青少年対策地区委員会（通称：地区対「ちくたい」）は、町会、保護司会、民生委員・児童委員協議会、PTA、青少年委員会、体育指導委員会など、多くの関係者で構成されています。「家庭の日啓発事業」や「環境浄化推進事業」を実施するなど、地域における青少年健全育成施策の中心的役割を担っています。